

中学生版パブリックコメント一覧

番号	ご意見の内容	意見に対する教育委員会の考え方	修正内容	担当課
1	「運動の楽しさを広げる」について 基本目標1の「運動の楽しさを広げる」の内容に「大人になってもスポーツが続けられる習慣をつくる」と書いてあります。しかし、今の玉名市の課題として、小さな学校では人数が少なく、部活動のチームが成り立たずにスポーツをしたくてもできない人がいます。 いだてんの取組が進められていますが、親も仕事をしている時間帯なので送り迎えも難しいところが多いと思います。その結果、部活動をしたくても出来ない人がいると考えました。このままでは、大人になってもスポーツを続ける習慣はできないと思います。バスや送り迎えができる車などの交通網が発達すれば部活動ができる人が増えると思います。	部活動のチームが成り立たない現状については、本計画の「新たな部活動の在り方に向けた取組の推進」において、総合型地域スポーツクラブをはじめとする関係団体や大学等と連携し、合同部活動方式や拠点校方式など、部活動の地域移行の取組により、生徒にとって最善を見据えた部活動改革を進めることとしています。 また、バスの送迎など交通手段の整備については、部活動への参加が任意であることからすると、移動については受益者負担として受け止めていただきたい部分です。しかしながら、スクールバスを地域部活動の移動手段として活用している事例もあることから、部活動改革のひとつの形として今後検討を進めます。	基本目標2の基本方針2-2【3】新たな部活動の在り方に向けた取組の推進（P30） 今後の取組に次の内容を追加しました。 取組：参加しやすい部活動環境の整備 内容：移動を伴う部活動への参加・促進に向けて受益者負担を踏まえつつ新たな送迎手段について検討を進めます。 担当課：教育総務課 スポーツ振興課	スポーツ振興課
2	タブレットを使った授業、楽しい授業にするための工夫について - 生徒のタブレットのセキュリティや制限などをもう少し徹底したほうがよいと思う。 - 座って聞くだけの授業ではなく、体験学習などの授業を取り入れる。直接自分で動いてやってみることで、理解も深まり、印象に残る授業ができると思う。 例 - 保体などの授業で心肺蘇生の体験学習をした。 - 災害の授業で、実際の非常時の時に役立つグッズ作りなど	各学校において、情報モラルの徹底について年間を通じて実施しております。今後も情報教育担当者等を通じて、情報モラルの徹底に関する取組を進めるとともに、学ぶためにタブレットを活用するための環境づくりを進めていきます。	基本目標1の基本方針1-1【1】授業改善に向けた取組の推進（P12） 「授業改善に向けた取組の推進」における今後の取組の「多様な学び」において「積極的に体験活動を取り入れ」を追加しました。	教育総務課

3	計画の内容について（基本目標 1）学校教育の充実を図り、子供たちの「生きる力」を育成するについて ・タブレット学習はとても便利でいいと思うが使い方について制限できるならしたほうがいいと思う。 ・A L Tの先生を増やして欲しい。 ・インクルーシブ教育について 障がいとは自分は障がいといってもどういった障がいの種類があるか、また、特性について知らないので障がいについて学んだ上で、その方たちと関わって助け合っていきたいと思いました。→授業で障がいについて学ぶ	・各学校において、情報モラルの徹底について年間を通じて実施しております。今後も情報教育担当者等を通じて、情報モラルの徹底に関する取組を進めるとともに、学ぶためにタブレットを活用するための環境づくりを進めていきます。 ・現在のA L Tの配置状況は、各学校の児童生徒数や児童生徒の学習環境を考慮したもので、現時点でA L Tの人数は現状のままと考えています。 ・障がいの有無に関わらず、相手の特性について知ることは大切なことです。人権教育の視点からお互いを知り、つながりをつくる教育活動の更なる充実に努めていきます。	・計画書の修正なし	教育総務課
4	施設の使いやすさの向上について 自転車小屋や正門付近は学校終了後の部活動の帰宅時にとっても暗く、自転車の行き来があり不安なことが多く、明るい光があると安心するので照明をつけて欲しいです。	外灯設備について、学校と相談し整備の検討を行いたいと思います。また、施設の整備に関しては、今後も学校施設の適正な維持管理に努めていきます。	・計画書の修正なし	教育総務課
5	学校教育内での学習内容の改正について ・インクルーシブ教育では、障がいについて知り、手話などを楽しく学べる場面を作らすべきだと思います。 ・キャリア教育では、働くことについて学ぶべきではなく、金融関係など大人になって不可欠なことを学ぶべきだと思います。	・障がいの有無に関わらず、相手の特性について知ることは大切なことです。人権教育の視点からお互いを知り、つながりをつくる教育活動の更なる充実に努めていきます。 ・発達段階を踏まえ、社会科や家庭科などの授業に消費者教育や金融教育の内容があります。職場体験学習の1つに金融機関を含めるなど金融を学ぶ機会の確保に努めていきます。	・計画書の修正なし	教育総務課

6	取り組んで欲しいこと このパンフレットには、未来につながる計画についてどう行動していくかということまで書いてあり、分かりやすかったです。私は学校のバリアフリーについて取り組んで欲しいと思いました。 バリアフリーについて取り組んで欲しい理由は、怪我をしたときに段差が少ない方がいいと思ったからです。バリアフリーにすると怪我をしたときもそうですが、誰もが過ごしやすい学校にもつながると思います。 以上の理由からバリアフリーを目指して欲しいです。お願いします。	学校施設のバリアフリー等についての取組については、障がいのある児童生徒が安全で快適に学校生活を送ることができるよう、学校施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの視点に基づく整備・改善に努めます。	・計画書の修正なし	教育総務課
7	福祉を深く知る活動、歯磨きの徹底について 福祉を深く知る活動について - 福祉のことをより深く知るために車いす体験など実際に自分たちが体験できる活動を毎年実施して欲しいです。 歯磨きの徹底について - 生徒のみんなに歯磨きの重要性を知ってもらうために、専門の方に来てもらい歯磨きの重要性や歯磨きの詳しい仕方などを教えていただく機会をつくって欲しいです。	- 小学校や中学校の総合的な学習の時間などで福祉について学ぶ学校もあります。福祉関係団体と連携し体験的な学習の機会の確保に努めていきます。 - 小中学校では歯科衛生士などから正しい歯磨きの仕方について学ぶ機会の確保に努めています。	・計画書の修正なし	教育総務課
8	英語教育の推進について 英語教育の推進のところに他の国語や数学などの教育も推進する取組を行って欲しい。 - 小学校では、市学調などの過去問を朝に解かせる。 - 中学校では、漢検や数検などの検定試験を追加して欲しい。	各学校の実情に応じ、学力向上に向けた取組を充実させていきます。	・計画書の修正なし	教育総務課

9	10分の仮眠を設けるについて 現在、午後の授業に集中できない人がいます。それは、学力の低下や授業の質を落としてしまうことになります。そうならないために、学校全体で「10分間の仮眠」を設けると良いと考えます。実際に宇土市の中学校・高校では「ウトウトタイム」という仮眠の時間が設けられ、9年間も続けられています。学生たちは、「集中力が上がり、午後の活動や授業の質が上がった」と答えていました。また、一流企業（NASA）が行った実験で10分間の仮眠をとると集中力・理解力・判断力が上がり、作業の効率が上がると報告されています。そのため、授業の質や活動の質を上げるためには「10分の仮眠」を設けると良いと思います。	日課は、各学校が創意工夫しながらつくります。今後も仮眠の時間などを含め、創意工夫した日課づくりを行っています。	・計画書の修正なし	教育総務課
10	青少年を守るための連携強化について 通学路や学校周辺に防犯カメラを設置して欲しい。不審者や児童の安全を確保するために、多くの場所に設置するといいのではないかと思う。また、下校時間に警察がパトロールをすれば安全に下校することができるし、犯罪も防ぐことができると思う。	防犯カメラの設置については、行政区（地域）または学校からの要望に基づいて、協議をし、設置に向けて前向きに検討します。 また、防犯パトロールについては、補導員が月2回、市内11箇所をパトロールしています。さらに、祭りなど人の多い行事の時にもパトロールを行っています。	・計画書の修正なし	教育総務課 コミュニティ推進課
11	運動の楽しさを広げるについて 「大人になってもスポーツを続けられるような習慣をつくれます」の部分について質問で大人になって、スポーツ選手になる人なら大人になってもスポーツをやりづづけると思います。でも普通に会社などに勤める人はスポーツをすることが少なくなり運動不足になりやすくなると思います。歩いて職場に行く人なんてほとんどいません。そんな人にもスポーツを続ける事ができる環境が欲しいです。	スポーツは楽しく身近なものである必要があります。そのための取組として本計画の「生涯スポーツの振興」において、誰もが気軽に参加できるスポーツ大会や健康教室などを開催し、スポーツに関わる機会の拡充を図ることとしています。また、ランニングコースやウォーキングコースの設定など、限られた時間でも手軽にスポーツに親しめる環境を整備するとともに、小中学校の体育施設を有効活用するなど、身近な場所でスポーツを楽しむ場の提供に努めることとしています。	・計画書の修正なし	スポーツ振興課

12	学校・家庭・地域の教育力の充実により「生きる力」を育成するについて 花壇の水かけや読み聞かせなどで自分達がよく見る身近な出来事だから、地域の人たちと協力して過ごしやすい玉名市を校区からつくっていききたいと思った。	引き続き、地域の方々と連携し、地域学校協働活動の取組を充実していきます。	・計画書の修正なし	コミュニティ推進課
13	基本目標2について ・玉名が音楽や芸術に興味をもつために学校に演奏などをしに来てもらう。 ・ゆめタウンなどでの演奏など、いろんな場所で演奏や展示を行うことでたくさんの人から興味をもってもらえると思うから ・玉名の歴史や、伝統文化を知ってもらうために、玉名の歴史の本をつくるなど、その本の読み聞かせをする。 ・図書館の自習室を増やし明るくする。（以前行ったときに席が空いていなくてできなかった。自習質の空気が暗くやる気にならなかった。） ・通学路の環境整備して欲しい。（ガードレールなどが無いところがあり、通う時に怖い）	・音楽アウトリーチ事業を毎年実施しています。 ・毎月、市民会館でロビーコンサートを開催しています。出張でのミニコンサートにつきましては、今後検討していきます。 ・学校には玉名市歴史ガイドブックが配布されています。 ・玉名市民図書館内の閲覧席数は少なく、文化センターの一部を学習室として開放しています。今後、図書館の改修や新たな図書館を建設する際に改善していきます。 ・通学路については、毎年、学校から危険箇所改善の要望をあげてもらい、道路管理者、警察、教育委員会、学校などの関係機関が連携して、合同点検を行っています。合同点検の結果をもとに協議し、必要に応じて、安全対策（ガードレール等の設置）を実施していきます。	・計画書の修正なし	文化課 コミュニティ推進課 教育総務課

14	年代や障がいの有無に関わらず、全ての人を大切にしようとする計画がよいと思ったことについて ・全ての人が社会で活躍できるよう成長する環境づくりがよいと思いました。大人も子供も仕事をするときに必要なことを学べるからです。 ・インクルーシブ教育がよいと思いました。多様性は生徒会でも大切にされていて、玉名市に住む人に平等に学ぶ機会がつけられていると感じたからです。 ・バリアフリー化、ユニバーサルデザインがよいと思いました。障がいを持つ人もそうでない人も使いやすい施設を作ろうとしているからです。 ・キャリア教育がよいと思いました。大人になって必要なことを早めに知ることができるからです。	学校施設のバリアフリー等についての取組については、障がいのある児童生徒が安全で快適に学校生活を送ることができるよう、学校施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの視点に基づく整備・改善に努めます。	・計画書の修正なし	教育総務課
15	基本目標2の計画の内容について ・「場をつくります」とあるが、具体的にどの様な場所なのかわからない ・夏休みなどの長期休みの期間を利用して活動を行うにはいいと思う。 ・図書館や市民会館だけではなく、大変かもしれないけど、全て学校でやった方がいいと思う。 (理由 「めんどくさい」とか言って、参加をしなかったり、「参加するかどちらでもいい」となったら、参加しないという人が多いと思うから。) ・「部活動の改革」のところで「いろいろな団体と協力して」を書いてあるが、「いろいろな団体」とはなにか	・「場をつくります」とは、場所を指す意味ではなく、学習体験講座等、活動に参加する機会を確保する意味です。 ・子供や親子向けの体験講座等は、引き続き、公民館(中央. 岱明. 横島. 天水)で行っていきます。 ・部活動の改革における活動できる場とは、これまで学校が担ってきた土日の部活動が地域に移行されることに伴い、地域部活動として土日に子供たちを受け入れ指導する環境のことを指します。具体的な活動場所は市内の学校の体育館や運動場のほか、学校以外の社会体育施設です。 また、いろいろな団体とは、部活動の改革に連携・協力を仰ぐ団体のことで、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会及びこれに加盟する各種目団体のほか国、県、大学等です。	・計画書の修正なし	コミュニティ推進課 スポーツ振興課 文化課

16	「生涯にわたって学びつづける環境を整備する」について 今の私たちは、本を読む、本に触れるということが少なく なってきたと思うので図書館の活用は、とてもよいと思 います。また、部活動の改革は、今人数が少なくなっている 部活動があるので、その様な場を設けてもらおうと、いろい ろな人と交流し、自分の好きなことが出来ると思うので良い と思います。	・図書館の活用については、今後もた くさんの方が来館していただけるよう、さ らなる周知に努めます。	・計画書の修正なし	コミュニティ推進課
17	「インクルーシブ」について ・とても良いと思います ・中学校では「ハッピープロジェクト」という全校生徒が楽 しむための行事を四役全体で行っているの、その内容を障 がいがあってもなくても楽しむことが出来る内容にしたいと 思いました。	引き続き、インクルーシブ教育システ ムの構築に向けて努めます。	・計画書の修正なし	教育総務課
18	教育政策推進のための基盤の整備について 施設の使いやすさの向上という点で、私たちの中学校では 車椅子の子がいます。それだけではなく体育の授業や部活動 時に、怪我をしまい松葉杖の子は、そのような事がない ので、その時に使えるようなものがなく階段の昇り降りが不 便だと思ったので整備して欲しいなと思いました。	学校施設のバリアフリー等についての 取組については、障がいのある児童生徒 が安全で快適に学校生活を送ることがで きるよう、学校施設のバリアフリー化や ユニバーサルデザインの視点に基づく整 備・改善に努めます。	・計画書の修正なし	教育総務課
19	基本目標 1 の内容について ・小学校の頃「エンジョイ・イングリッシュ」をやっていた ので、小学生のうちから英語を話すということに慣れること が出来ていました。しかし中学校は「エンジョイ・イング リッシュ」の取組がされておらず、授業以外で英語を使う機 会が減りました。1週に2回でもよいので、それを継続すれ ば、少しずつ英語になれていくことが出来ると思います。 ・現在、1人1人が使えるタブレットが渡されていますが、 あまり活用する機会がないので、もう少しタブレットの活用 機会を増やして欲しいと思います。	・中学校で「エンジョイ・イングリッ シュ」はありませんが、A L Tの活用、 デジタル教科書の導入、英検チャレンジ など、英語教育の充実に向けて取り組ん でいきます。(指) ・教育委員会では、I C T機器をより効 果的に活用した授業を推進しており、各 学校には、その推進についてお願いして います。今後も、I C T機器をより活用 し、すべての子供たちの可能性を引き出 し、個別最適な学びと協働的な学びの実 現に向けて取り組んでいきます。	・計画書の修正なし	教育総務課

20	I C T環境の整備 タブレットでプレゼンを作り、友達に発表することで言葉だけでなく、グラフや画像で相手により分かりやすく伝わるので、とても良いと思います。	タブレット端末を効果的に活用していただき、ありがとうございます。今後も引き続き、効果的にご活用いただけますようお願いいたします。	・計画書の修正なし	教育総務課
21	基本目標 1 インクルーシブ教育とキャリア教育 インクルーシブ教育の中の障がいがあってもなくても、お互いの個性を大切にしながら一緒に学び助け合える学校というところがすごくいいと思います。こんな目標があると誰もが楽しく学校へ行くことにつながると考えたからです。そしてキャリア教育では、去年職場に実際に行ってみて働くことはどのようなことかという意義や生活があたり前ではないということを知り、とても重要な体験とさせていただいたことにより、考え方や行動が成長出来たと感じたからです。	引き続き、インクルーシブ教育システムの構築に向けて努めます。	・計画書の修正なし	教育総務課
22	体育の授業を運動が得意な人と苦手な人の2つに分ける。玉名市について知れる機会を増やす。 ・私は運動が苦手で、やっぱり出来ない事や失敗を見られるのが怖くて、体育の授業では消極的になってしまうことが多くあります。特に運動が苦手じゃない人が当たり前にできることで失敗するのを見られると、どう思われているのかを気にしがちです。バレーなどの団体競技では、私のミスでチームが負けてしまったり、迷惑をかけてしまうと、どうしようもなく申し訳なくて運動がどんどん嫌いになってしまいます。でも周りが私と同じで運動が苦手なら安心して失敗できると思うし、運動も楽しめると思います。得意と苦手とで区別するのはあまり良くないかもしれないけれど、運動が苦手でも心から運動を楽しめる環境を作って欲しいです。 ・玉名市について、あまりよく知らないなので、玉名市について知れる機会があればいいなと思います。	・算数・数学については、習熟度別学習に取り組むことがあります。体育では、コース別の学習はありますが、習熟度別はあまり見受けられません。運動が楽しめる環境づくりの1つとして検討していきます。 ・小学校の総合的な学習の時間や社会科では玉名市について学ぶ機会があります。中学校でも社会科の公民などで、玉名市について考え、まちづくりについて提案をするような学習をしている学校もあります。今後も玉名市について知り、玉名市をよりよくしていこうとする児童生徒の育成に努めていきます。	・計画書の修正なし	教育総務課

23	計画内容、基本目標、イベントについて 計画の内容や基本目標はとても良いとおもいます。ですが、この計画で進めると今とそんな変わらず、地域の方が頑張って終わりだと思います。今でも音楽イベントなど、いろいろな取組をされているのは知っていますが、参加しづらい雰囲気だなと感じたし、みんなそもそも活動を知らないと思います。しかも知っていたとしても、1人では行く勇氣はないし、でも友達も知らないから、結果、行かないようになると思うので、まず計画やイベントを広める参加しやすい雰囲気を作る、児童や生徒の気を引くようなキーワードを入れる。いっそのこと、小中学校を巻き込んだようなことをしないと、みんな参加しないんじゃないかと思いました。	・多くの方が参加できるように周知等を徹底します。 ・イベントの開催について、小中学校を巻き込んだ取組はとても有効的だと感じます。また、それに関わる大人への波及効果も期待できます。 スポーツイベントにおいては、高校生にボランティアスタッフとして協力いただいているほか、マラソン大会では各小学校に応援のぼり旗の作成をお願いし、会場の盛り上げに一役買っていただくなどしています。今後はイベントの計画や準備段階から小中学校を含め幅広く参画させるようなやり方も検討を進めます。	・計画書の修正なし	文化課 スポーツ振興課
----	--	---	---	------------------------

24	基本目標2 生涯にわたって学び続ける環境を整備するについて ふるさとの歴史や文化を伝えるについては、学校や地域での活動をもっと増やしていくと中学生も玉名市の良さについてよく知ることが出来ると思います。 図書館の活動については、小中学生のころから、たくさん本を読むことで、文章を読む事が速くなり、理解する力がつくと思うので、学校の図書館だけでなく、地域の図書館も利用をするように呼びかけていくといいと思います。	・職員が学校へ出向いて「出前授業」を実施しています。 ・図書館の資料の充実、居心地の良い施設となるよう努めてまいりますまた、いつでも本に触れることができる電子図書の利用についても、併せて周知を図っていきます。	基本目標2の基本方針2-3【1】文化材の保存・活用及び歴史・文化を活用した地域づくりの推進（P31 9～11行目） 「保存上に問題がないものについては、学校や地域の要望に応じて、授業での講話や見学、公民館での講座等、定期的な公開に努めています。」を 「保存上問題がないものについては、定期的な公開に努めています。また学校や地域の要望に応じて、授業での講話や見学、公民館での講座など、職員が出向いて「出前授業」を実施しています。」に修正します。 基本目標2の基本方針2-2【3】読書活動の推進（P26 最終段落） 「取組が必要となっっています。」を 「取組が必要となっているため、学校の読書活動と連携し、周知を図っていきます。」に修正します。	文化課 コミュニティ推進課
25	地域との交流について 学校全体で地域との交流を深めるために一緒に花植えしたり環境にも配慮したことを増やしたい。	引き続き、地域の方々と連携し地域学校協働活動の取組を充実していきます。	・計画書の修正なし	コミュニティ推進課
26	音楽の都玉名を広めることについて 各学校で行う合唱コンクールを地域の人が見にきてもいいようにする。	・地域に開かれた学校をめざして、今後検討します。	・計画書の修正なし	文化課

27	運動の楽しさを広げることについて 運動が苦手な人にはどのような運動の楽しさを広められますか	本計画の「スポーツ活動の振興」では、スポーツに関わることが人生を豊かにするとの思いから、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽にスポーツを楽しめる環境を整えることを目的としています。具体的には、安心安全で快適なスポーツ施設の整備をはじめ、スポーツの楽しさ、素晴らしさを知っていただくためのスポーツ大会や交流イベントを開催など、それらがスポーツに関わるきっかけづくりとなり、更には日常的にスポーツを楽しむことに繋がればと考えています。 イベントの中には、一度に様々な種目のスポーツを気軽に体験できる内容のものもあり、今後も自発性を後押しするようなイベントを展開できればと考えています。	・計画書の修正なし	スポーツ振興課
28	学校・家庭・地域の教育力の充実により「生きる力」を育成することについて 地域の花壇の手入れなどを生徒の皆に手伝ってもらい交流を楽しむ	引き続き、地域の方々と連携し地域学校協働活動の取組を充実していきます。	・計画書の修正なし	コミュニティ推進課
29	基本目標 1 について 小中学校の時から英語教育やキャリア教育を行うことで将来にもつながってくるのでいいと思った。	引き続き、キャリア教育の充実に向けて努めていきます。	・計画書の修正なし	教育総務課
30	英語教育の推進について 以前行われていた海外へのホームスティなどを復活させたいです。実際に会って話をしたり文化などを交流することによって、もっと英語や海外への興味を持つ人が増えたり、また、コミュニケーション力もつくと思われるからです。先日、オーストラリアの同じ生徒と画面を通じて話をする機会がありました。そうした機会がもっと増えて欲しいなと思いました。	現在、オンラインを活用した海外との交流会を推進しており、昨年度から台湾、そして今年度からはスウェーデンとの交流を進めています。市内の各学校でこのように、海外の児童生徒との交流が活発に行われるように、推進していきます。	・計画書の修正なし	教育総務課

31	インクルーシブ教育について インクルーシブ教育がいいと思いました。	引き続き、インクルーシブ教育システムの構築に向けて努めます。	・計画書の修正なし	教育総務課
32	生涯にわたって学び続ける環境を整備する あまり知らないところで、いろいろな計画や工夫がされていると初めて知り、知れてよかったです。	引き続き、多くの市民が参画できるよう、魅力ある生涯学習活動に取り組んで参りたいと考えております。	・計画書の修正なし	コミュニティ推進課
33	地域の人達との交流について 今まで、地域の方々から私達に様々なことを教えていただきました。私は、これから中学生からも地域の方々に歌や学んだことを発表する機会が出来たらいいなと思いました。学校の近くのホールや体育館で行えると思います。	発表する機会などには、地域とともにある学校づくりの一つとして、今後検討します。	・計画書の修正なし	コミュニティ推進課
34	制服について 制服がブレザーになったらいいなと思う。そっちの方が今より暑い時や、寒い時に調整しやすいから。	制服については、生徒と先生、保護者の方々や地域の方々を含めて検討していく必要があります。	・計画書の修正なし	教育総務課
35	基本目標 2 について 「音楽の都 玉名」を広める について学校の音楽室で授業では触れる機会が少ない楽器を演奏したい。楽器に触れる機会をもっとつくって欲しい。	音楽アウトリーチ事業で、楽器体験が多くできるように奏者に働きかけます。	・計画書の修正なし	文化課